
2005年3月期 第1四半期 決算説明会

2004年7月28日

沖電気工業株式会社

本日のご説明内容

1. 2005年3月期第1四半期決算の概要
2. 事業別セグメント情報
3. 2005年3月期業績予想

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

第1四半期業績の概要

事業概況

< 経済環境 >

- 景気は堅調に推移：企業業績の好調により個人消費、雇用状況が改善

< 当社の概況 >

- 金融機関のシステム投資が増加、カラーNIPプリンタの需要増加、通信キャリアのIP網の拡充、半導体市況の好調持続により、売上高が大幅増加
- 売上増、事業構造改革、調達コスト低減等により、営業損益および当期純損益は大幅改善



■ 比較連結P/L

(金額単位: 億円)

	03/1Q	04/1Q	差異(増減)
売上高	1,118	1,420	302
(売上原価率)	(80.2%)	(75.4%)	(4.8%良化)
売上原価	897	1,071	174
販管費	352	370	18
営業利益	131	21	110
営業外収支	10	10	0
経常利益	141	31	110
特別利益	0	1	1
特別損失	15	13	2
税引前利益	156	43	113
法人税等	45	17	28
当期純利益	111	26	85

● 円高を吸収し、全セグメントで増収増益

連結売上高

(億円)

	03/1Q	04/1Q	差異
情報	576	676	100
通信	166	230	64
デバイス	272	376	104
その他	104	138	34

連結営業損益

(億円)

	03/1Q	04/1Q	差異
情報	26	9	17
通信	28	2	26
デバイス	48	12	60
その他	3	4	7
本社・消去	26	26	0

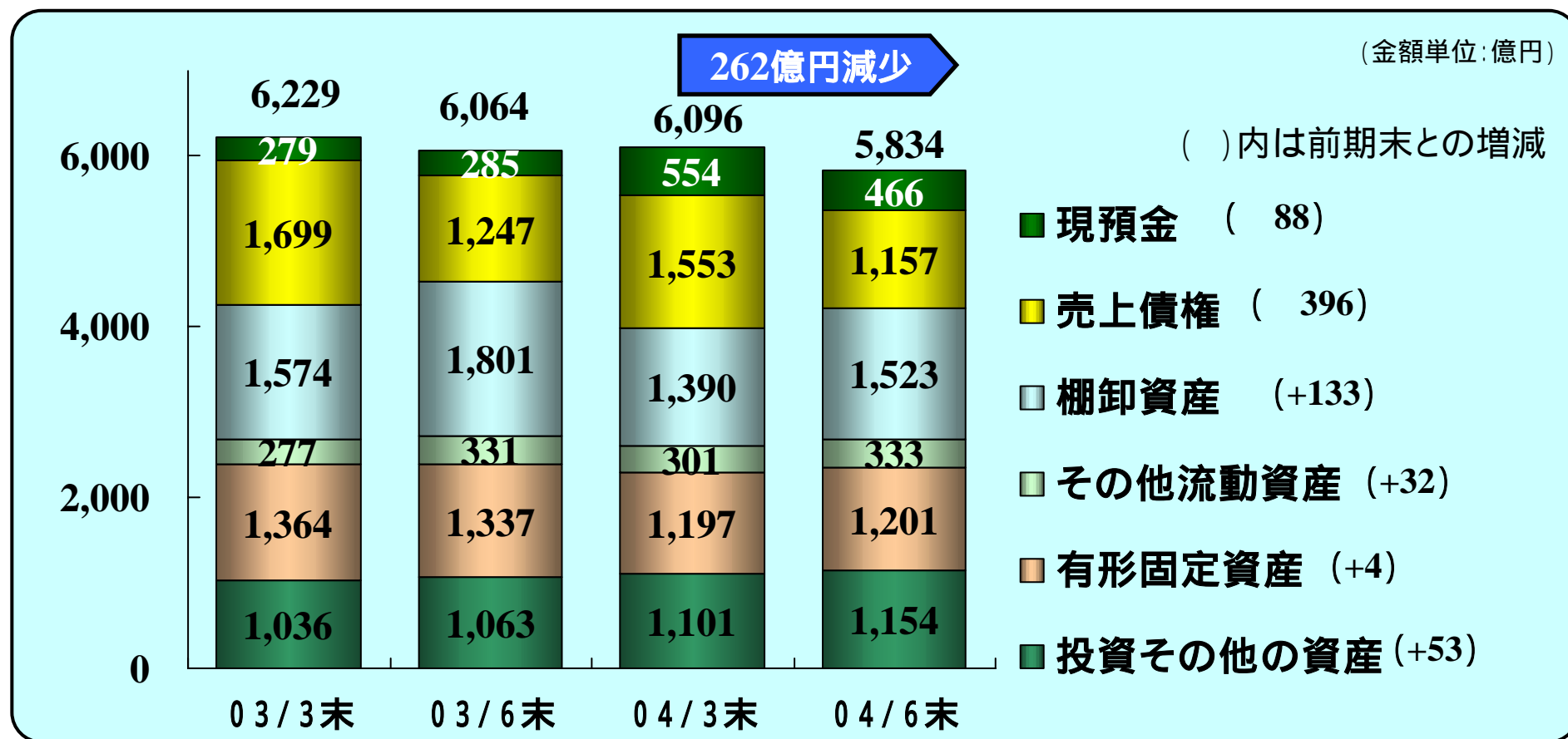
平均為替レート

	実勢レート		04年度社内レート
	03/1Q	04/1Q	
USD	118.5	109.8	105
ユーロ	134.7	132.3	130

【貸借対照表 - 資産の部】

- 売掛金の圧縮等により総資産は減少
- 主要な資産回転率も大幅に良化

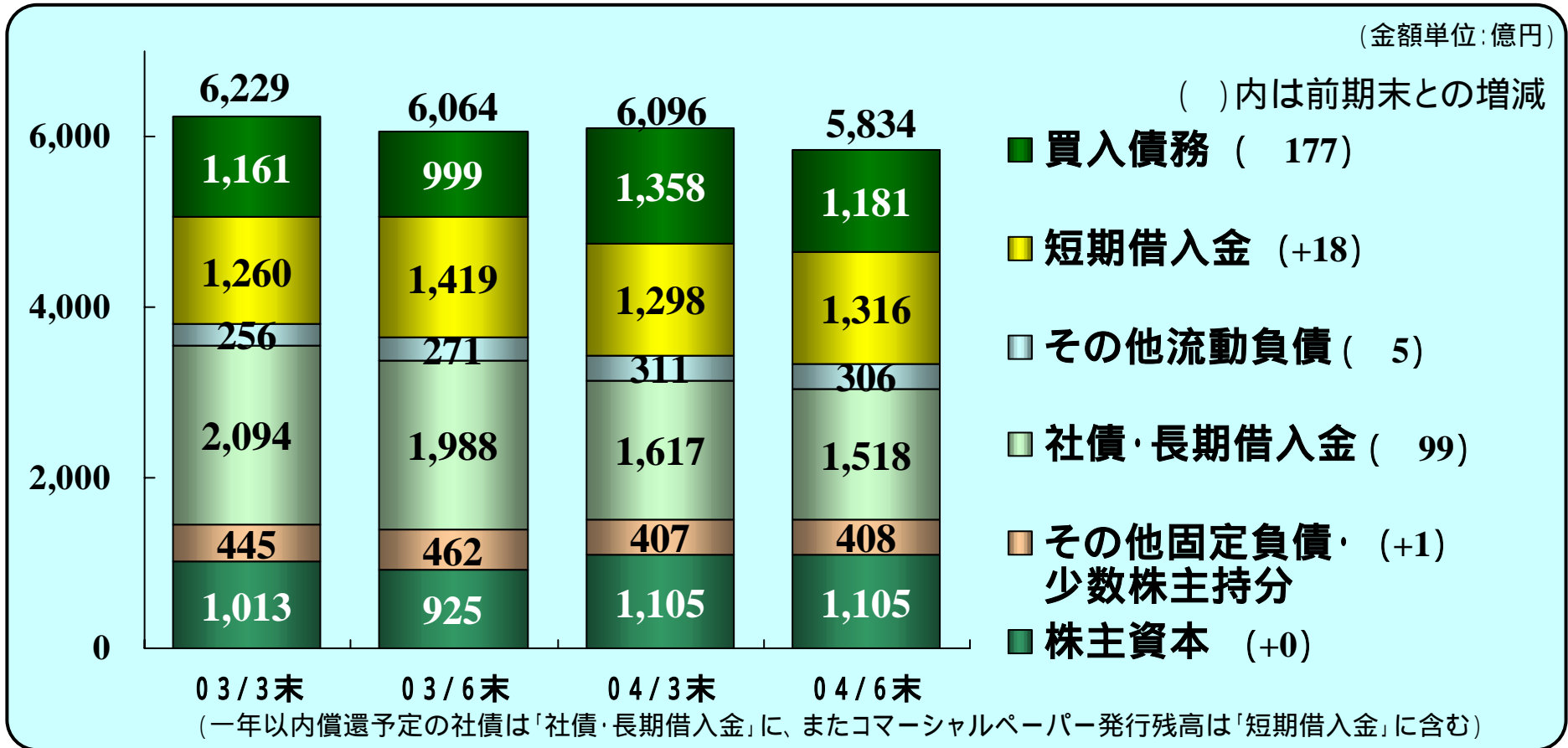
	03/1Q	04/1Q	差異
総資産回転率	0.73	0.95	0.22良化
売上債権回転率	3.04	4.19	1.15良化
棚卸資産回転率	2.65	3.90	1.25良化



【貸借対照表 - 負債・資本の部】

- キャッシュフローの改善により、有利子負債を前期末比 80億円圧縮

	03/6末	04/6末	差異
有利子負債比率(%)	56.2	48.6	7.6良化
株主資本比率(%)	15.2	18.9	3.7良化



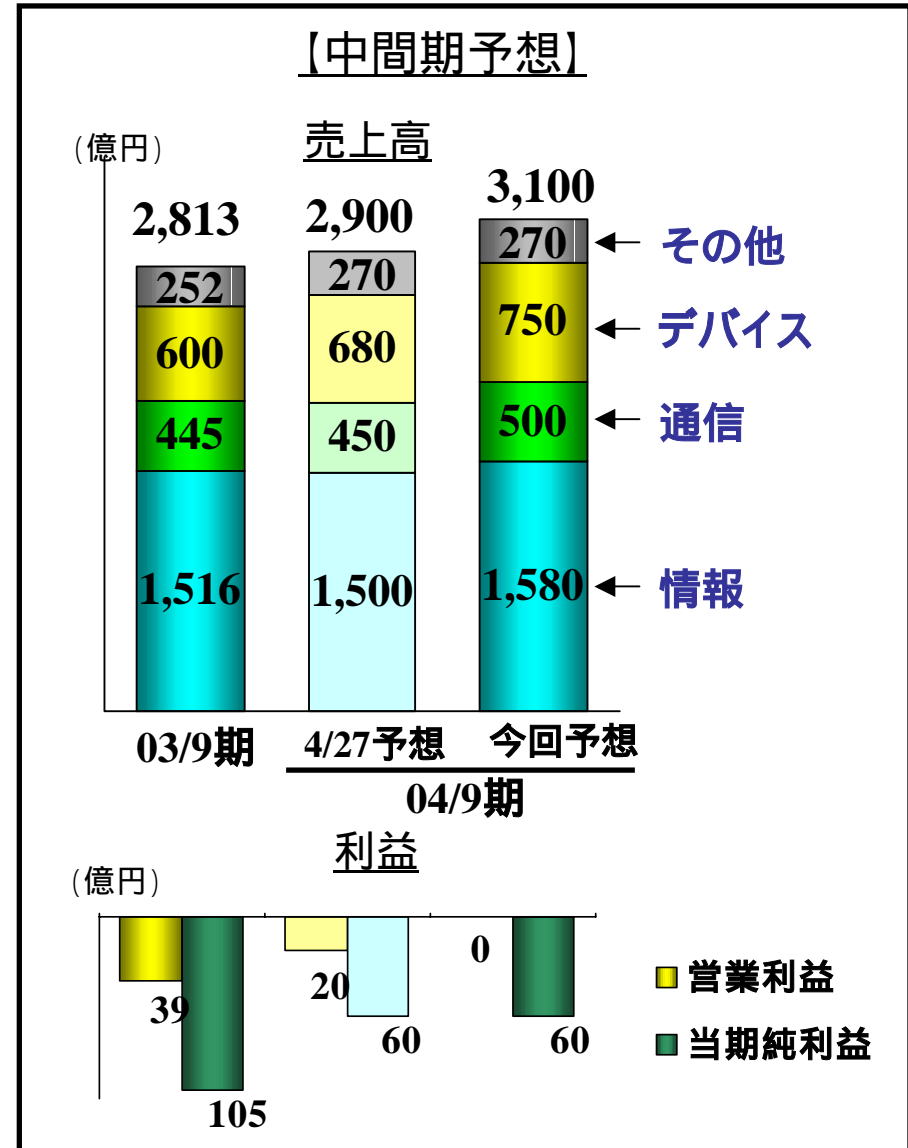
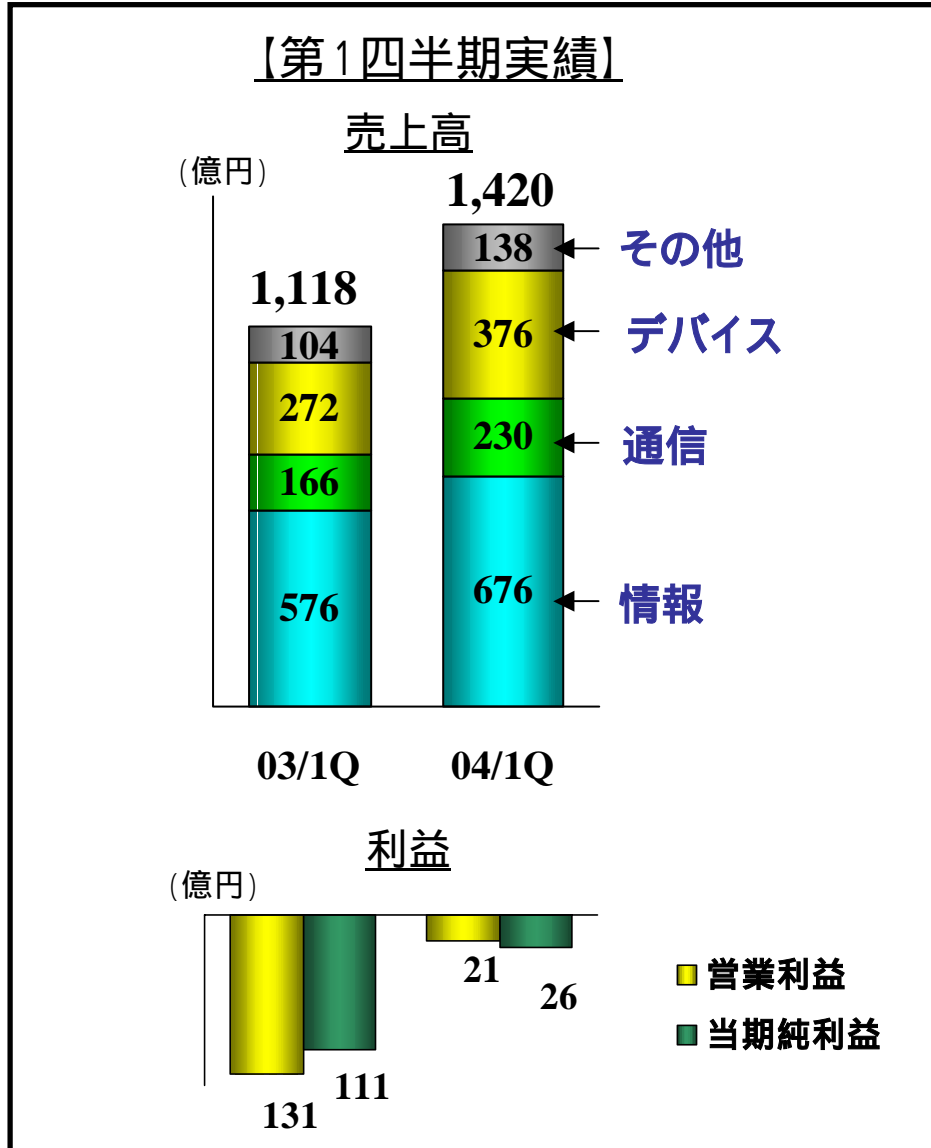
- 当期損失縮小と運転資金の圧縮により、フリー・キャッシュフローは54億円改善
- 有利子負債の削減を継続

(金額単位: 億円)

	03/1Q	04/1Q	増減	備考
営業キャッシュフロー	10	104	114	
税金等調整前当期純利益	156	43	113	< 運転資金増減影響内訳 > (03/1Q) (04/1Q) 売上債権 460 403 棚卸資産 219 132 仕入債務 102 99 計 139 172
減価償却費	78	73	5	
運転資金の増減	139	172	33	
その他	71	98	27	
投資キャッシュフロー	30	90	60	
設備投資支払額	31	67	36	
その他投資活動	1	23	24	
フリー・キャッシュフロー(+)	40	14	54	
財務キャッシュフロー	48	84	132	
社債償還	77	0	77	
長短借入金等の増減	125	84	209	
キャッシュフロー計(+ +)	8	70	78	
現金同等物等の期末残高	303	514	211	

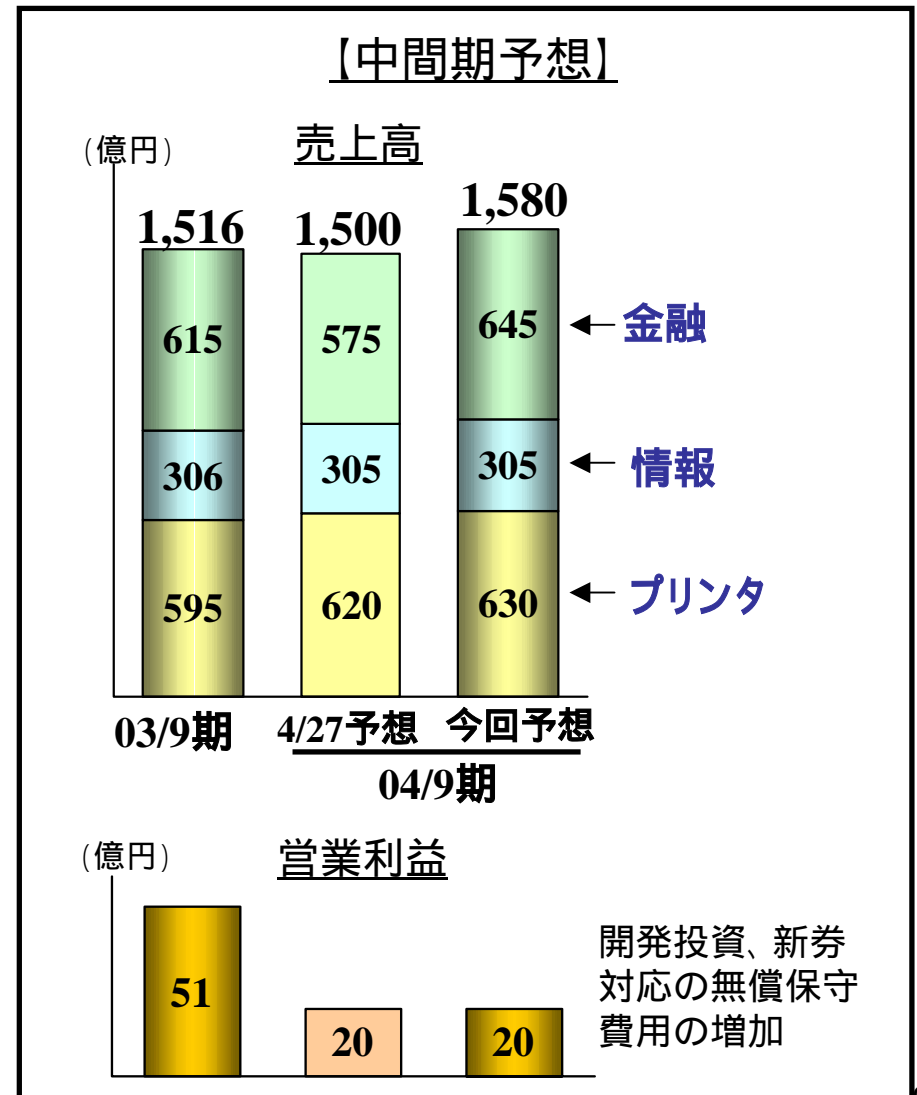
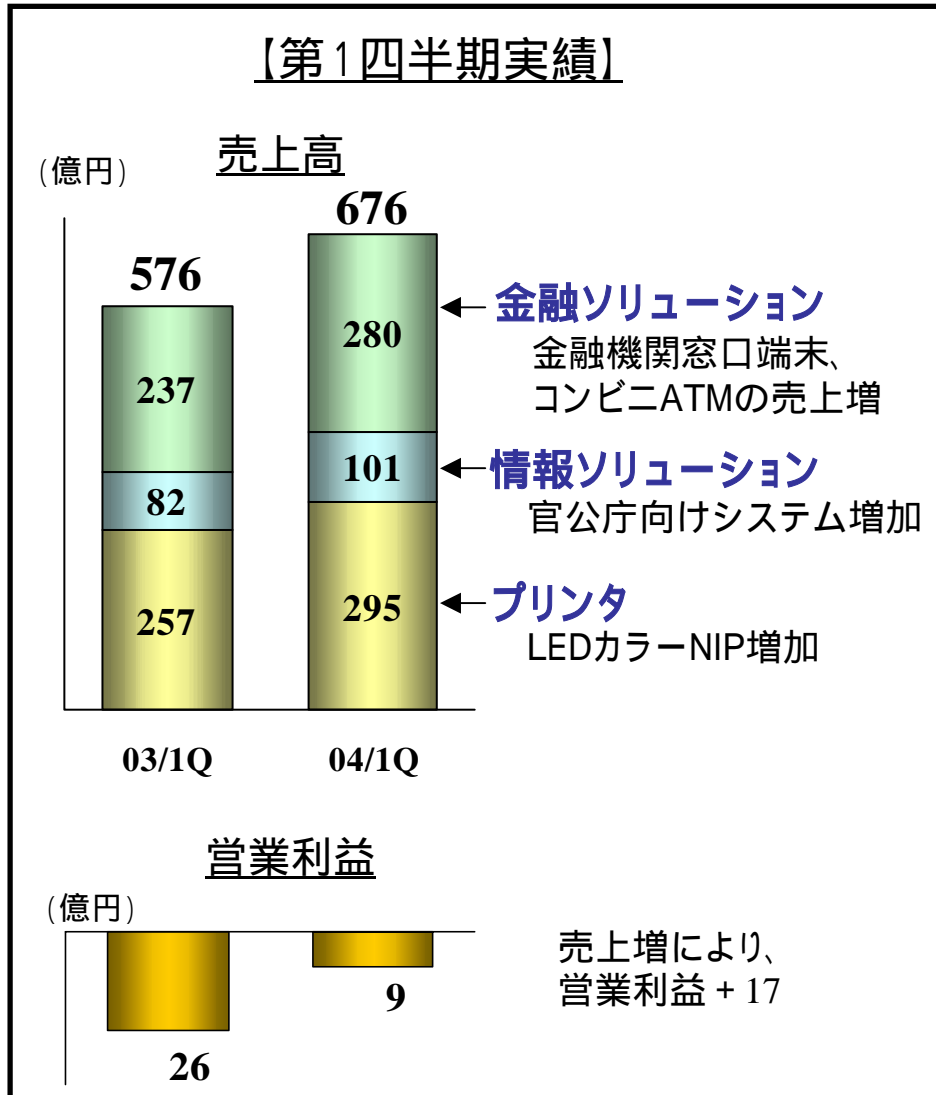
第1四半期実績・中間期予想

- 上期の売上高、営業利益は、前回予想に対し増収増益の見通し



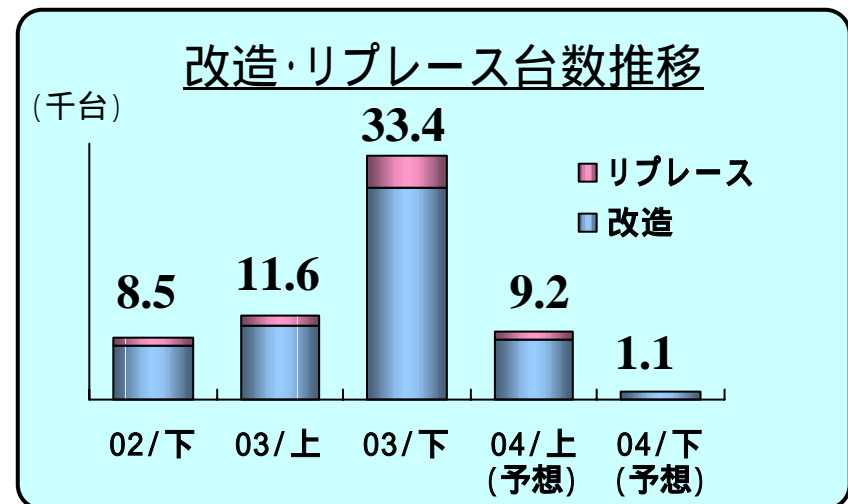
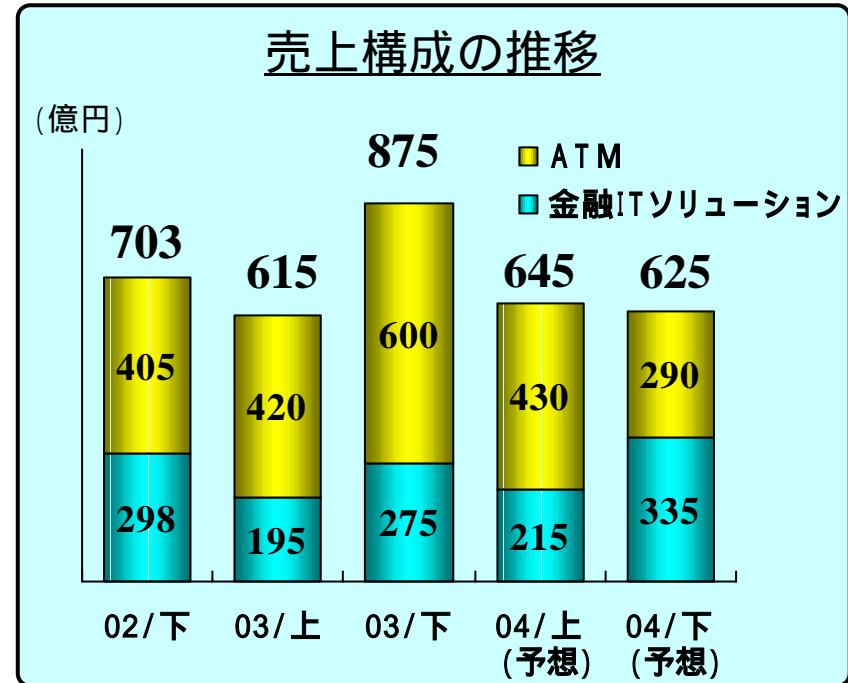
【情報】第1四半期実績・中間期予想

- 前回公表に対し売上高は増加の見通し
- 営業利益は、開発投資などのコスト増により前回予想通り



金融ソリューション

- 新紙幣対応需要は04年上半期で終了。その後はリテールチャネル強化、事務効率化の投資が拡大
- 営業店 / 事務集中ソリューションや情報通信融合ソリューションの拡販に注力
 - 営業店 / 事務集中ソリューション：
コンサルステーション、本人確認、営業
渉外支援(軒ナビゲーション)
 - 情報通信融合ソリューション：
IPネットワーク、コールセンタ(CTstage
4i)、IP転送電話ソリューション
- コンビニATM、銀行向け無人受付機「RT21」、統合現金処理機「CM21」は堅調



■ 中間期業績見通し

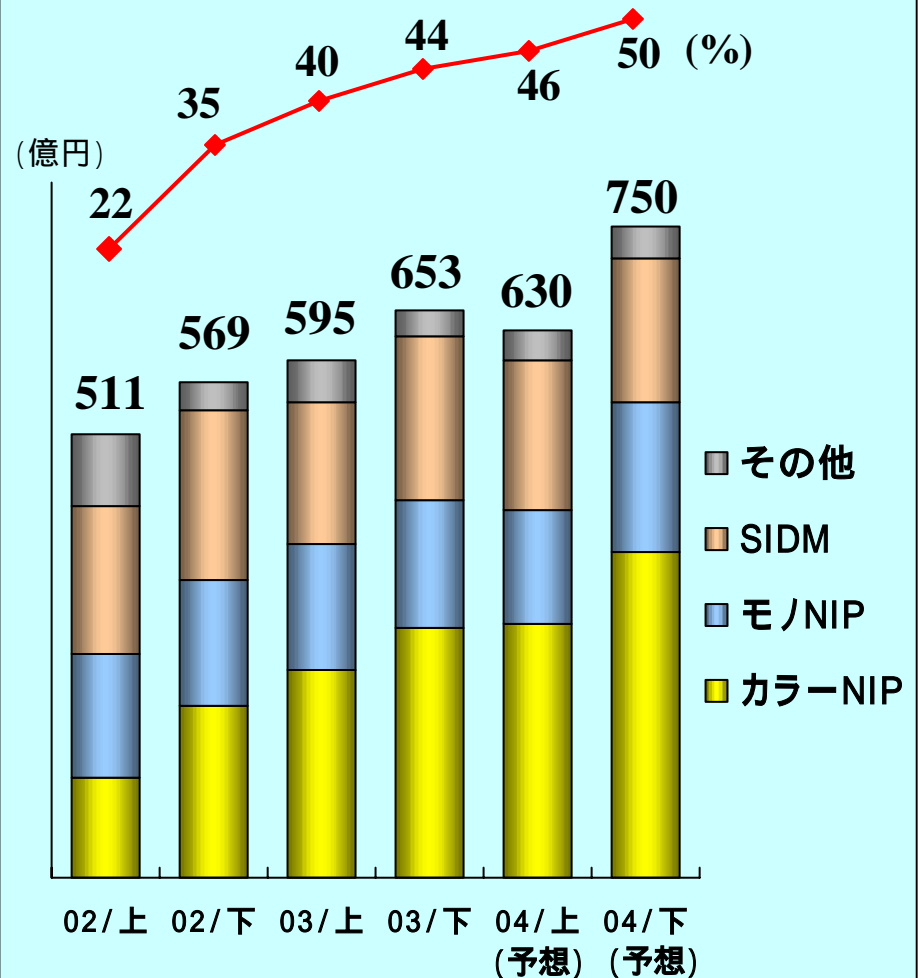
- カラーNIPは前年同期比22%の売上増
- SIDM、モノNIPは市場縮小だが、シェアアップにより前年同期並み売上を確保

■ トピックス

- New York Times紙(04年7月1日)で高い印字品質、容易なセットアップ等に高い評価
- PC World誌(2004年5月)のカラービジネスプリンタ Top 10にOKIプリンタが3機種選出される

1. Okī C7300	6. IBM Infoprint 1354
2. HP LaserJet 5500	7. Xerox Phaser 7300
3. Okī C9500	8. Brother HL-4200
4. HP LaserJet 3700	9. Xerox Phaser 6250
5. Lexmark C752	10. Okī C5100

機種別売上高とカラーNIP構成比率

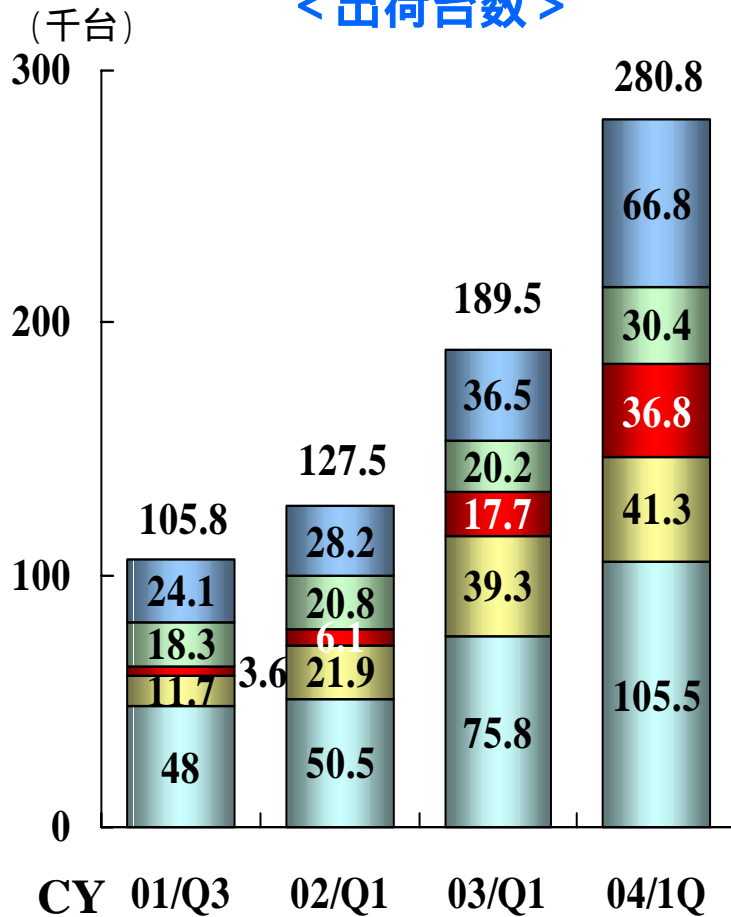


プリンタ事業: カラーNIP

- 欧米において、OKIは2年半で出荷台数が約10倍、シェアは約4倍に拡大

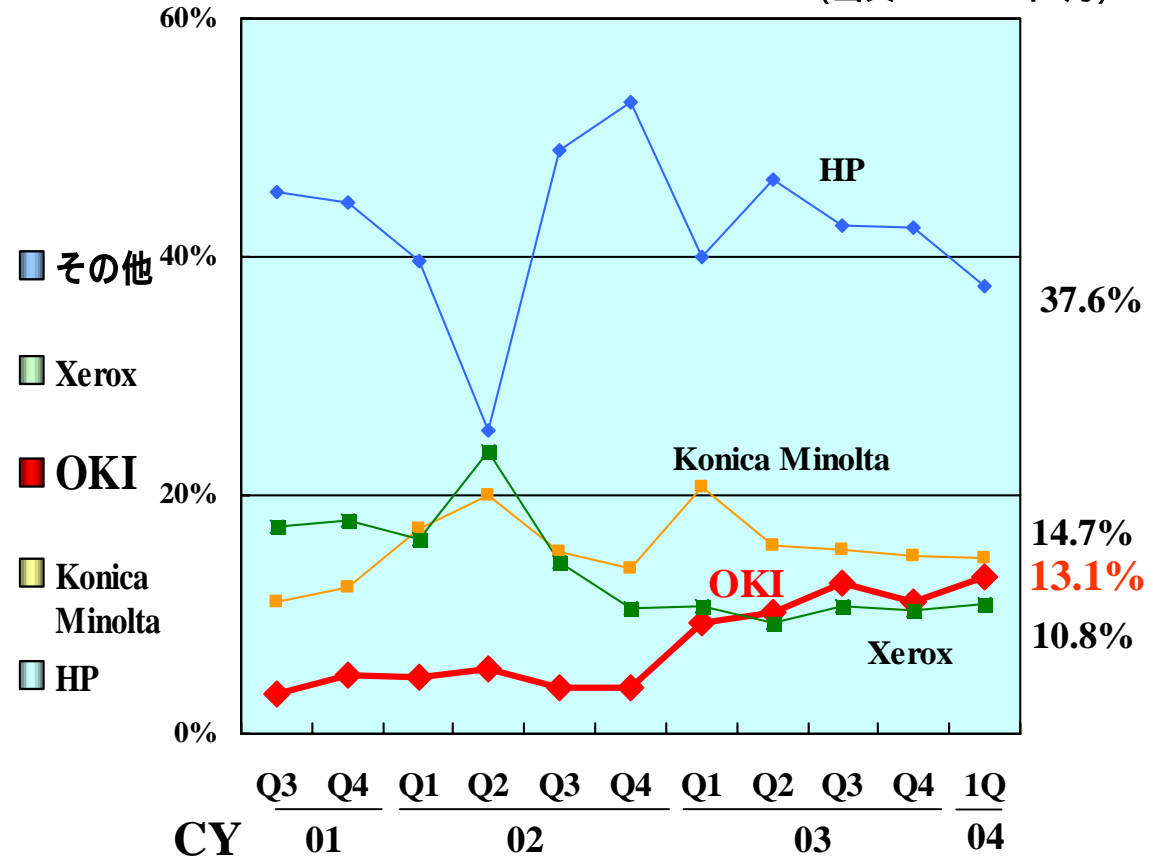
カラーNIPプリンタの出荷台数およびシェア推移(欧州+北米)

< 出荷台数 >



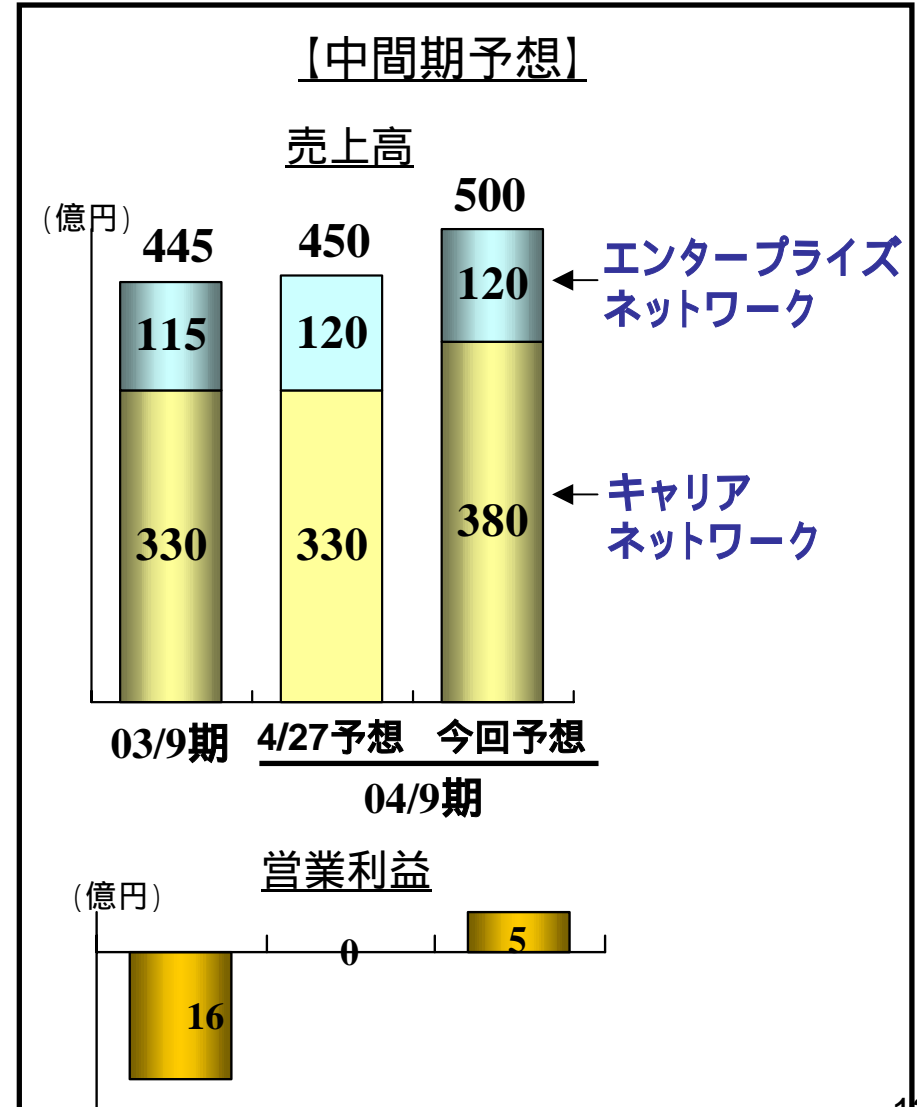
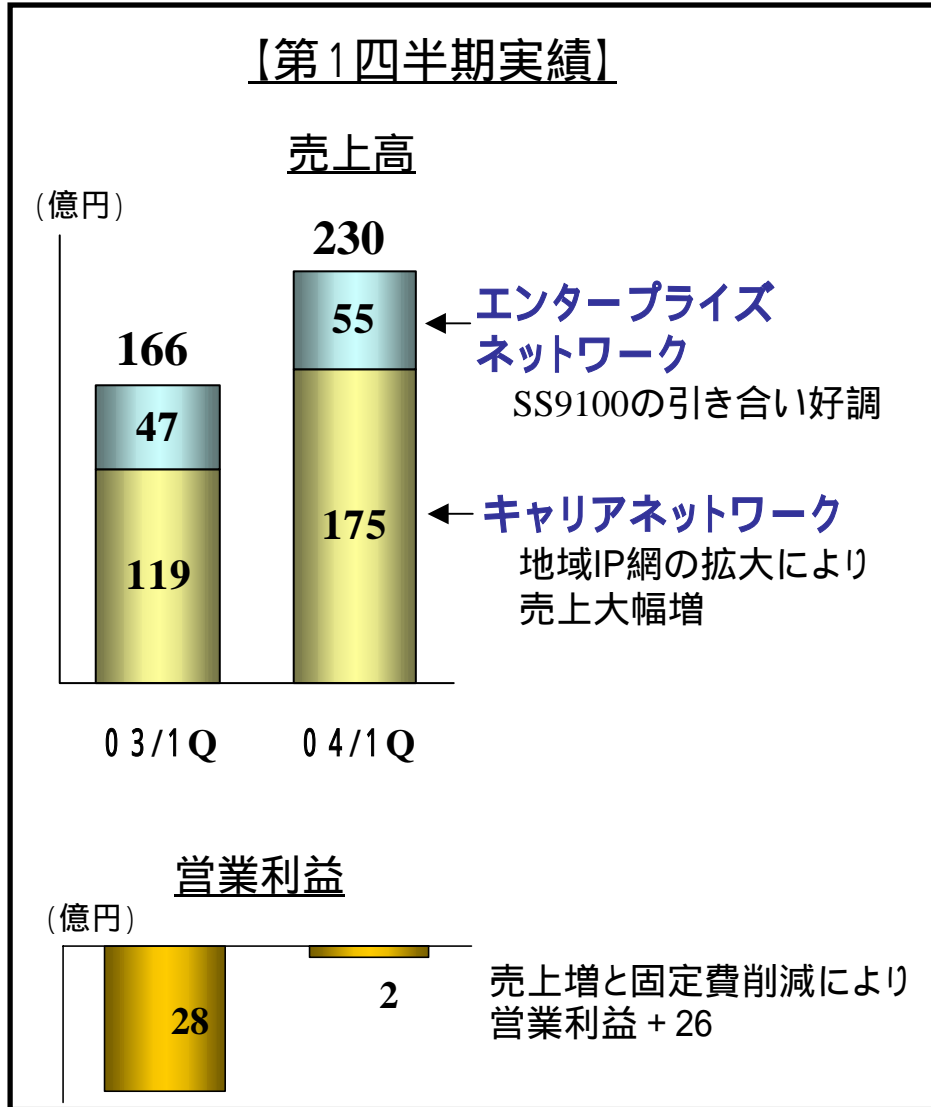
< 出荷台数シェア >

(出典 IDC 04年5月)



【通信】第1四半期実績・中間期予想

- IPネットワークを中心に、通信市場は回復基調
- 前回予想に対し、売上、営業利益とも増収増益の見込み



IP ネットワーク

キャリア市場

- NTT-G、KDDI等通信キャリアは
ブロードバンドIPネットワークの拡充に注力

地域IP網・FTTHの整備、
IPv6化対応投資、CDN網の構築、
FOMAのIP化、etc.

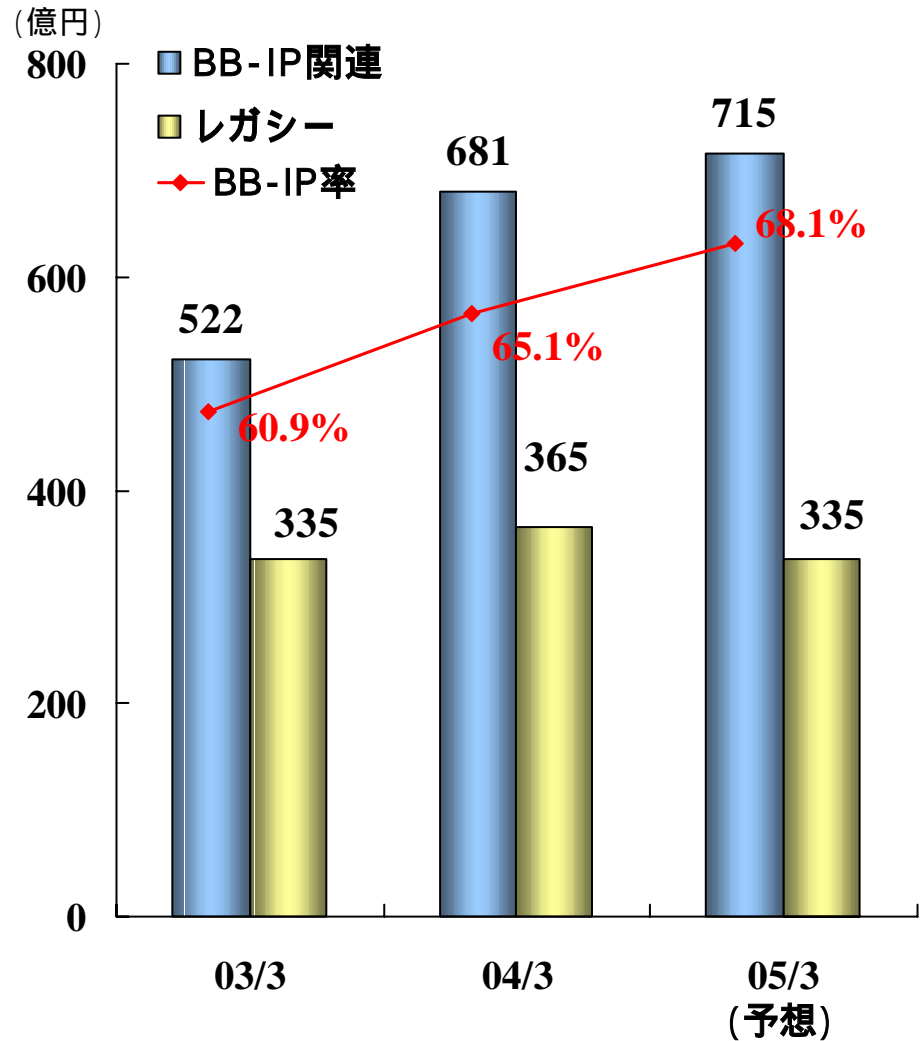
企業向け市場

- 企業のIP電話投資の目的は、通信コストの削減から課題解決型アプリケーションによる業務効率化へ
- 情報(IT)と通信(IP)の融合への期待増大
 - IP電話と電子メール/グループウェア/
Eコマースの融合
 - 企業の業務プロセスへの音声・映像コミュニケーションの統合

IP CONVERGENCE® Server
SS9100

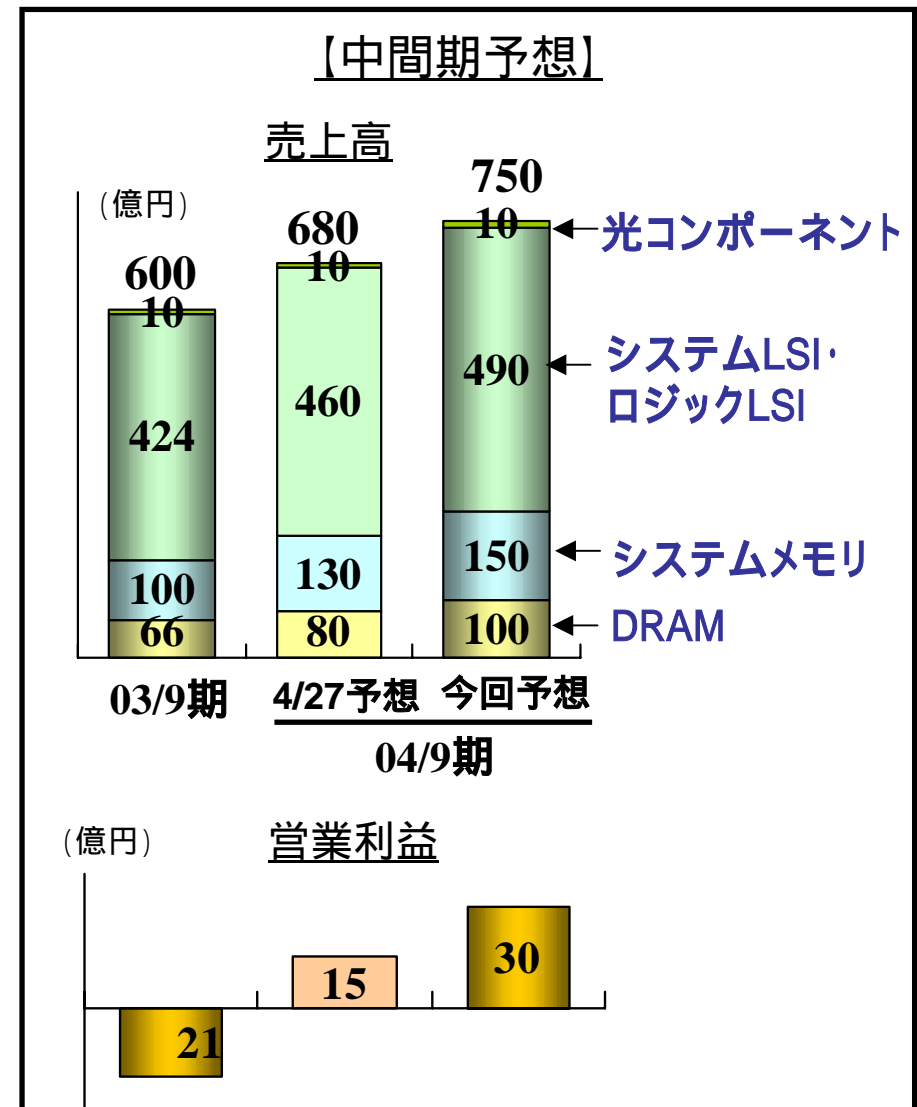
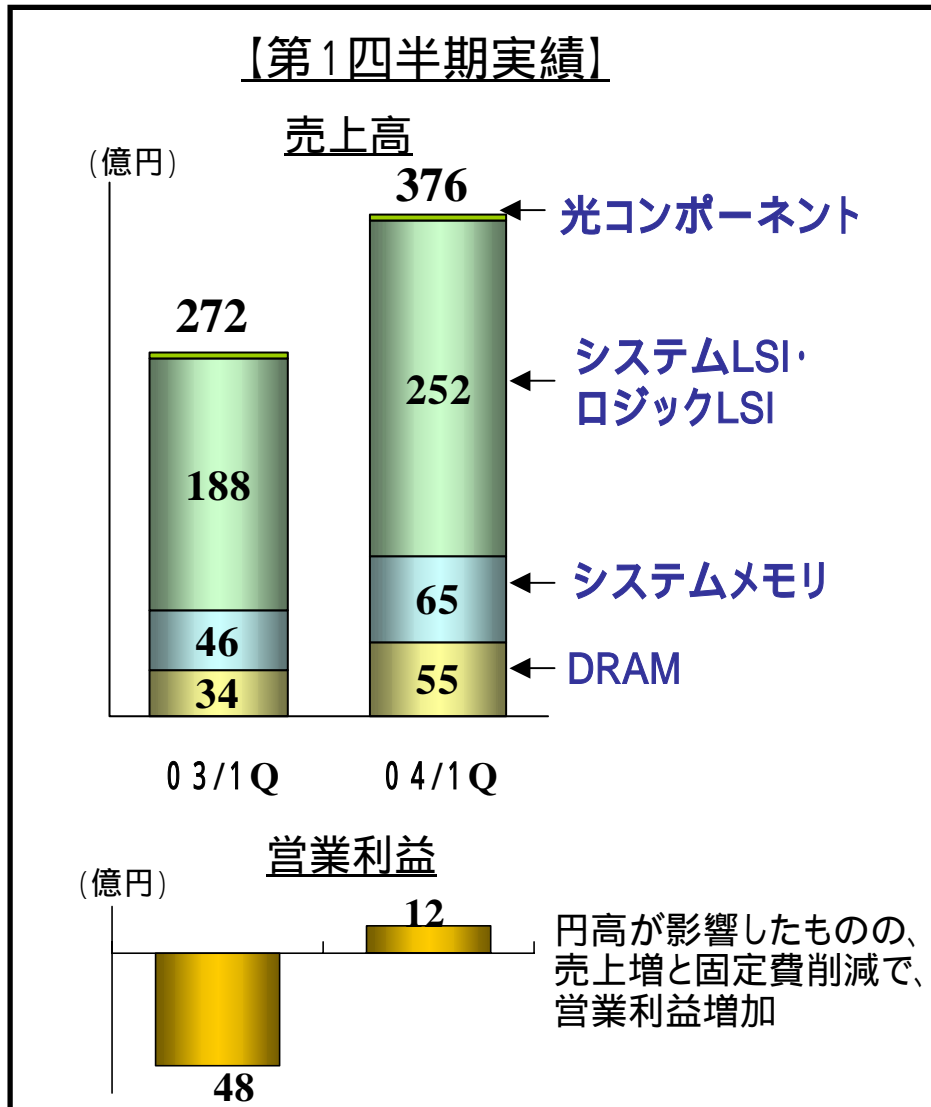


BB-IP売上高と売上高比率



【デバイス】第1四半期実績・中間期予想

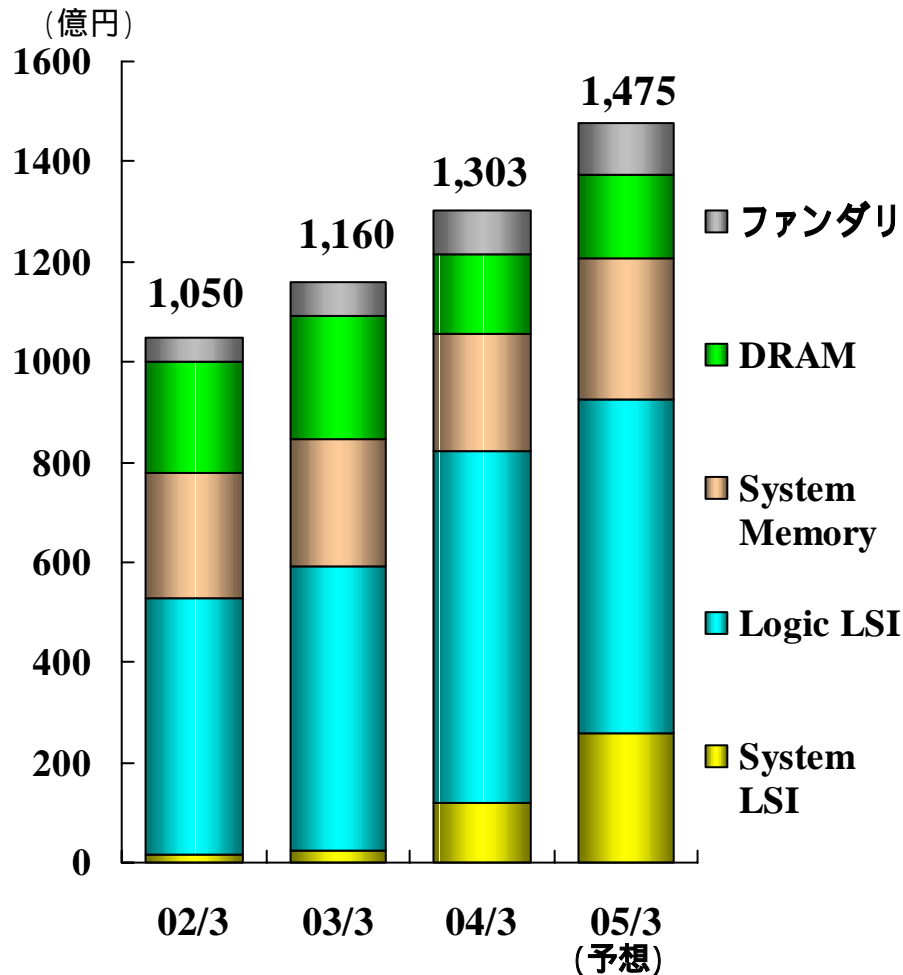
- 前回予想に対し、売上、営業利益とも増収増益の見込み



半導体事業の状況

半導体売上構成推移

- システムLSI、ロジックLSIへの集中
- P2ROM等の沖独自のメモリ事業展開



沖の特徴あるLSI

PHSベースバンドLSI

中国、台湾市場でのシェア拡大(現状 30%)
世界のPHS-LSI市場のトップシェアを目指す

音源LSI

高音質、W-CSP、標準フォーマット等の強みを生かしGSM向け音源LSI市場でのシェア拡大(現状 50%)

ドライバLSI

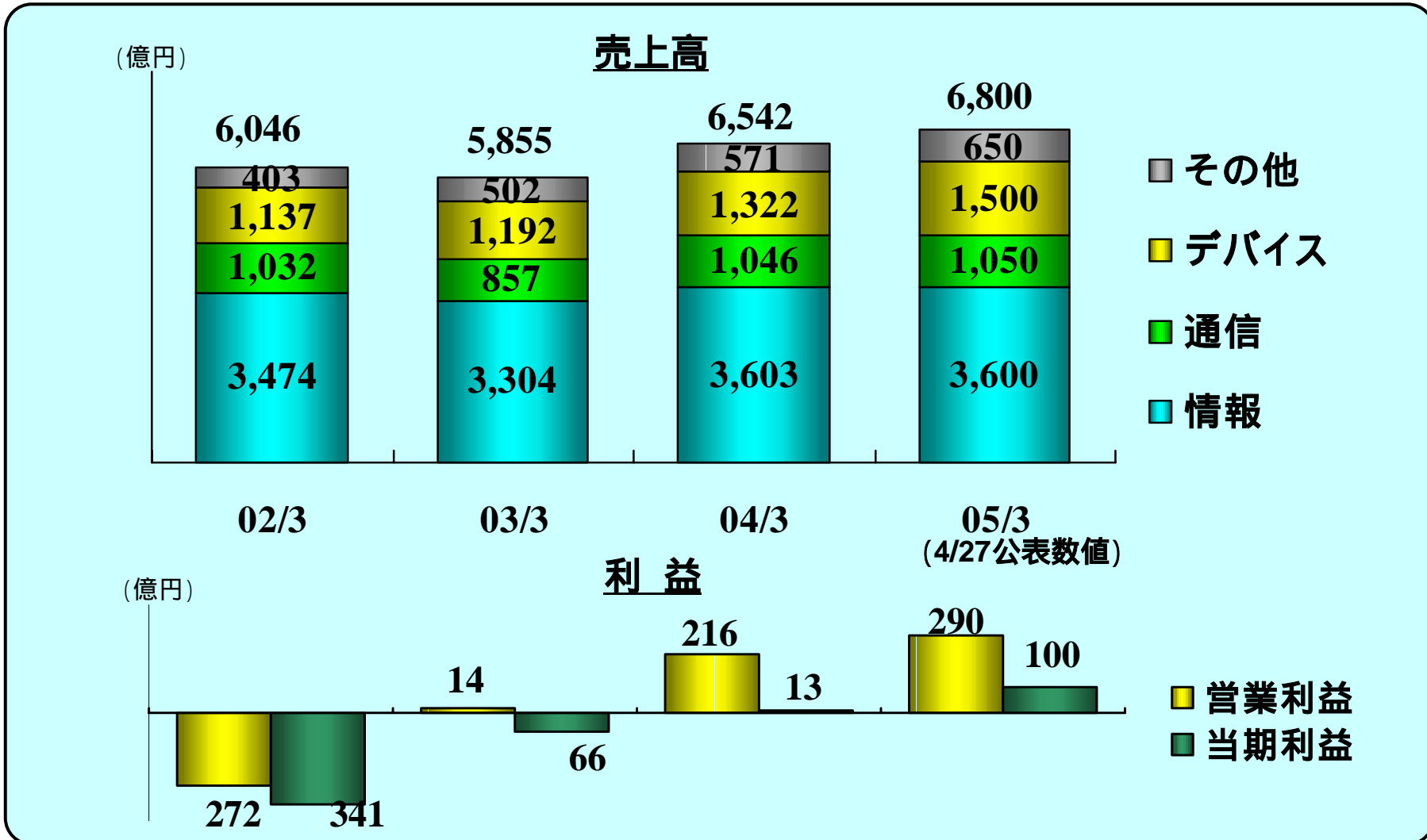
急成長する大型液晶TV向けで世界トップシェア
携帯、デジカメ、車載、有機EL等の商品拡充

P2ROM (システムメモリ)

短TAT、低コストの強みを生かし
電子辞書・ゲーム・プリンター等の市場でのシェア拡大(現状ROM市場の30%)
次世代大容量P2ROM(512M~)開発加速

05年3月期 業績予想

- 下期は半導体市況の不透明感などあり、通期予想については今後の修正計画策定時に見直し



	03/中間期 (実績)	04/中間期 (今回予想)	差異(増減)	参考 04/中間期 前回公表値
売上高	2,813	3,100	287	2,900
(売上原価率)	(76.0%)	(- %)		(- %)
売上原価	2,138	-	-	-
販管費	714	-	-	-
営業利益	39	0	39	20
営業外収支	43	45	2	45
経常利益	82	45	37	65
特別損益	65	35	30	15
税引前利益	147	80	67	80
法人税等	42	20	22	20
当期純利益	105	60	45	60

キャッシュフローの状況(予想)

- 中間期は運転資金の圧縮等により、フリー・キャッシュフローは前回予想に対し50億円良化の見込み
- 通期予想については今後の修正計画策定時に見直し (金額単位:億円)

	04/3期	05/3期		備考
		通期	中間期	
営業キャッシュフロー	923	550	130	< 運転資金増減影響内訳 > (*1、*2) (04/3) (05/3) 売上債権 101 170 棚卸資産 171 80 仕入債務 129 90 計 401 0
税金等調整前当期純利益	23	180	80	
減価償却費	336	360	170	
運転資金の増減	(*1) 401	(*2) 0	30	
その他	163	10	10	
投資キャッシュフロー	192	400	230	
設備投資支払額	240	310	150	
その他投資活動	48	90	80	
フリー・キャッシュフロー(+)	731	150	100	
財務キャッシュフロー	436	250	130	
社債償還	399	150	100	
長短借入金等の増減	37	100	30	
キャッシュフロー計(+ +)	295	100	230	
現金同等物等の期末残高	581	481	351	
有利子負債の期末残高	2,914	2,664	2,784	

用語集

P3	NIP	Non-Impact Printer
	IP	Internet Protocol
P9	ATM	Automated Teller Machine
	LED	Light Emitting Diode
P10	IT	Information Technology
P11	SIDM	Serial Impact Dot Matrix
P14	FTTH	Fiber To The Home
	IPv6	Internet Protocol Version 6
	CDN	Content Delivery Network
	BB-IP	Broadband IP
P15	DRAM	Dynamic Random Access Memory
P16:	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory
	PHS	Personal Handy-phone System
	W-CSP	Wafer level Chip Size Package
	GSM	Global System for Mobile Communications
	EL	Electro-Luminescence
	ROM	Read Only Memory

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。